



# 飛騨っ子

令和2年10月28日発行 NO9  
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係  
 家庭教育推進専門職：水口 悟  
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)  
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

## 手厚い家庭教育支援の仕組み

### 1 幼・保・小をつなぐ在宅取組型



**江名子小学校 訪問(10/7)** 保護者の方々と手をつなぎ、受付をする園児たち。笑顔で迎える先生方。係の先生に「にこにこカード」を手渡すと、「毎日よくがんばったね〜」「きれいな色でぬってあるね〜」などなど声をかけてもらいながら、キラキラのシールを貼ってもらいます。家庭でがんばった取組に対して、4月に入学する学校の先生から、一言声をかけほめてもらう瞬間…恥ずかしそうで嬉しそうで。その姿を保護者が見届けています。一瞬だけれども、子どもたちにとってかけがえのない一瞬であることは、間違いありません。学校職員のみなさんが、成長の節目を大切にし新年度に入学する子どもたちと保護者を笑顔で迎えている姿が、家庭教育をあたたく支えています。



**江名子保育園 訪問(10/8)** カードには、家の方からのメッセージと小学校の先生からのシール、そして保育士さんによる見届けのシール(一言)が加えられています。しかし、ここで終わらないのが江名子保育園のすばらしさです。さらに「えなこっこ」と題し独自の朝のスタートプランに取り組まれているのです。1枚目のカードは全員が、2枚目からは個々に応じて取り組みます。多い子になると3月までに、6~7枚のカードを仕上げるそうです。すごろくになっているカードに各自シールを貼り進め、1枚仕上げるごとに家の方と園長さんがメッセージで見届け、子どもに返すという仕組みです。「幼児期にめざす10の姿」や「非認知能力」が育めるよう、取組内容を工夫しながら保育園が一体となり継続的に取り組まれています。



### すばらしさ

高山市には、8年前から就学前の市内全園児

に対して、「小学校入学に向けてお子さんのために家庭で身に付けたいこと」として、「朝のスタートプラン：1日のリズムをつくる5つのポイント」という取組が続いています。

- 岐阜県家庭教育支援条例(基本的事項)に関連付けた取組
  - 就学前の高山市全ての家庭(園児)に対する取組
  - 幼稚園、保育園と小学校をつなぐ在宅型家庭教育の取組
  - 就学時検診時と入学説明会時の2回チャレンジできる取組
  - 教育委員会と子育て支援課の協働の取組
- であること などなど。



## 2 テーマ:「弦舞」～夢をいっぱい話すこと～(学ぶPTAの開催 9/26)



例年、高山市立日枝中学校3年生は、親子で進路に関わる講話を視聴しています。今回は、コロナ禍感染症予防対策をする中、生徒の皆さんを中心に開催されました。

時間となり、3人(日本舞踊家・バイオリニスト・ギターリスト)のトークが始まりました。‘どのように自分と向き合い、進路を決め、夢に向かって歩んできたか’という話です。‘自分の好きなことや得意なことを見つけ、自分はこうなりたい!’と 夢を持つことの大切さとすばらしさを語り合う3人。「一音一音に命を込める」「とりあえず行動してみる」「感謝」、3人が語った座右の銘です。‘夢を描いたら、みんなの前で話すといい。そうすることで、困ったときには誰かが助けてくれる。そして、いつまでにどうすればよいのか、普段何をすべきか目標が見えてくる…。子どもたちは、キャリアを語る3人のトークに、聞き入っていました。

そして、生徒たちがみんなで植えたひまわりが大きく育ち、地域の人々をつなぐ架け橋になった…そんなエピソードのもと「ひまわりの約束」の演奏が始まったのです。

「進路にはいろいろな道があるんだと思った。私も夢を持ちたい。夢をめざしてがんばりたい。」(生徒の感想)卒業まで約半年、コロナ禍だからこそ、自分の夢を力強く持ってほしい。そして、何より、自分の夢を家族の方々にいっぱい話すことで、確かな進路を見出し、仲間とともに力強く巣立つことを願っています。

## 3 コロナ禍の中、大ハキッズ(乳幼児学級)の立ち上げ(9/25)

高山市大八まちづくり協議会では、お母さん自身が楽しみストレスを発散できるように、子育て中のお母さんたちが主体的に子育てネットワークづくりができるようにと、大ハキッズをスタートさせました。

この日は、2組の親子が参加しました。この春、高山市外からみえた方もいて、「いつスタートするのか待ち遠しかった」と話されました。

飛騨高山わらべうたの会(NPO法人)の皆さんが演奏するわらべうたに合わせ、親子のスキンシップが始まります。この時期、肌で感じ合える親子の関係づくりがとても大切です。子どもたちのキャッキョとはしゃぐ声と満面の笑顔。飛騨地方に伝わるわらべうたのリズムや歌遊びがとても楽しい。音やリズムに包まれる子育ての一時がとても心地よいです。続いて、はらぺこあおむしのストーリーに合わせたパネルシアターが行われました。雰囲気慣れてきた子どもたちは、少しずつお母さんのもとを離れ生き生きと活動し始めていました。コロナ禍、子育て中の親さんたちが孤立しないよう支援することは、とても重要です。



## 4 お知らせ

**家庭教育応援通信【飛騨っ子】は、飛騨県事務所のHPからご覧いただくことができます。**

PTA役員・保護者会役員の皆さんなどなど、多くの家庭教育関係者に周知していただけるとありがたいです。



‘長雨も猛暑も乗り越えました’  
ひだ子ども家庭支援センター  
ぱすてる

